



## 学校だより (11)

事務所 947-3111 ・ 授業日 291-1591

◇ <http://www.hjschl.org>

◇ e-mail [info@hjschl.org](mailto:info@hjschl.org)

「あたたかさ」と「やすらぎ」と

校長 福原 輝幸

明日から夏休みに入りますが、どのような計画をお持ちでしょうか。

夏休み。

子どもは「あたたかさ」と「やすらぎ」のある家庭生活に戻ります。子どもは「あたたかさ」と「やすらぎ」で満ち満ちた家庭で、心から甘えたい願望を持っています。

この機会に、是非そうした子どもの願望を満たしてやって下さい。

満たされてくると、これまで心の中に閉まっていたことをぽつりぽつりと語り始めます。「本当はこんなことを考えていたんだ」「こんなことがあったんだ」と。その時、子どもの目を見て「そうだったの」とあいづちをうちながら、子どもの話のすべてを聞き、受け入れてやって下さい。

お説教ではなく、命令ではなく、失敗した話があり、笑いのたえない「あたたかさ」と「やすらぎ」のある家庭を、保護者の皆さんの手で作って下さい。

ところで、夏休みですから、レインボー学園の課題(宿題)を片付けることは言うまでもありませんが、こんなことをして見ませんか。

読みかけの本があるでしょう。もう一度開いて最後まで読み終えてみませんか。

好きな音楽のリズムやメロディーに身を任せてみませんか。

久しぶりの手紙を、忘れ難き人にしたためてみませんか。

裁縫にチャレンジしたり、料理を作ってみませんか。

部屋の模様替えや大掃除をして見ませんか。

現地校とレインボー学園との両立に明け暮れた日々は、しばしの間、お休みです。

誰からも邪魔されない貴重な時間は、心がリフレッシュされ、明日への力がわいてくるでしょう。

7月18日に再会するまで、健康で事故等がありませんように。

### 灯台

やさしい灯(ひ)がひとつあれば  
海をつつむ  
闇(やみ)がどんなに大きくとも  
舟は迷(まよ)わず  
安らかに 沖にいくでしょう。

やさしい灯がひとつあれば  
ひるまは波立ち さわいでいた海も  
お母さんに子守歌を  
うたってもらう子どものように  
もう むずかりはしないだろう

魚も 貝も  
しずかに夢をみるでしょう  
かもめも 千鳥も  
岩かげで羽をたたむでしょう  
やさしい灯がひとつあれば

(新川 和江)